

2019 年 7 月 9 日
在ブラジル日本国大使館

最近のブラジル経済情勢（2019 年 7 月号）

ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（6 月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

(1) 経済情勢等（6 月発表の経済指標）

（ア）中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、6 月 28 日時点で、GDP 成長率予測については、2019 年は 0.85%で先週 0.87%から 0.02%減少、2020 年は 2.20%で先週と変わらず。インフレ率については、2019 年は 3.80%で先週 3.82%から 0.02%減少、2020 年は 3.91%で先週 3.95%から 0.04%減少。

（イ）4 月の鉱工業生産指数は、前月比+0.3%、前年同月比▲3.9%を記録。

（ウ）4 月の小売売上高は、前月比+0.6%、前年同月比 1.7%を記録。

（エ）全国の失業率（3～5 月の移動平均）は 12.3%となり、前回の公表値（12.5%：2～4 月の移動平均）より改善した。

（オ）5 月の貿易収支は、輸出額は 212.57 億ドル（前年同月比+10.0%、前月比+7.74%）、輸入額は 149.72 億ドル（前年同月比+12.9%、前月比+9.88%）で、差引き 62.85 億ドル（前年同月比+3.64%、前月比+2.98%）となり、51 か月連続で貿易黒字を記録した。

（カ）5 月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で+0.13%となり、前月の+0.57%から減少した。12 ヶ月の累計では 4.66%となり、政府のインフレ目標（4.25%±1.5%）内の水準で推移している。

(2) 経済政策等

(ア) 6月8日～9日、G20 財務大臣・中央銀行総裁会合が福岡で、G20 貿易・デジタル経済大臣会合がつくばで開催され、閣僚級ではカンボス・ネット中央銀行総裁が前者に出席。同総裁は、7日に東京で開催された G20『高齢化と金融包摂』ハイレベルシンポジウムにもパネリストとして登壇。

(イ) 6月16日、レヴィ・BNDES（国立経済社会開発銀行）総裁が辞任し、17日、モンテザノ経済省民営化局副局長が後任として任命される。

(ウ) 6月27日、中央銀行は四半期毎公表のインフレ報告書を発表し、2019年の経済成長率予測を0.8%に引き下げる（3月公表時は2.0%）。

(エ) 6月28日、伯外務省、経済省、農務省は連名にて、EU・メルコスール FTA の交渉完了を発表。伯経済省の試算によれば当該協定により、15年間で伯の GDP が 875 億米ドル増加し、非関税障壁の削減及び生産性の向上を考慮した場合、1,250 億米ドル増加する可能性があるとしている。

(オ) 6月28日～29日、G20 首脳会合が大阪で開催され、ボルソナロ大統領が出席。安倍総理との間で日伯首脳会談が行われた。

(3) 中銀の金融政策等

金融政策委員会が6月18日及び19日に開催され、政策金利を年6.50%に据え置くことを決定。据え置きは10会合連続。次回会合は7月30日及び31日開催予定。

(4) 為替市場

(ア) 6月の為替レートは、1ドル＝3.8～3.9 レアル台で推移。

(イ) 月の前半は、年金制度改革の進展によりレアルが買われる一方、レアル・ペソ統一構想や年金改革案に対する政府と議会の対立が報じられると反発した。

(ウ) 月の後半は、FOMC がハト派の立場を示して世界的なドル売り基調となったことや年金制度改革で楽観的な見方が広がり、一時は1ドル3.81 レアル台となった。

(5) 株式市場

(ア) 5月のブラジルの株式相場（Ibovespa 指数）は、年金制度改革を巡る楽観的な見通しや米国株の株高傾向の影響で月内を通じて概ね上昇し、初めて 100,000 ポイントを上回る終値となった。

（イ）月の前半は、年金制度改革を巡る報道で株価が一貫して上昇し、月半ばは 98,000 ポイントを上回った。

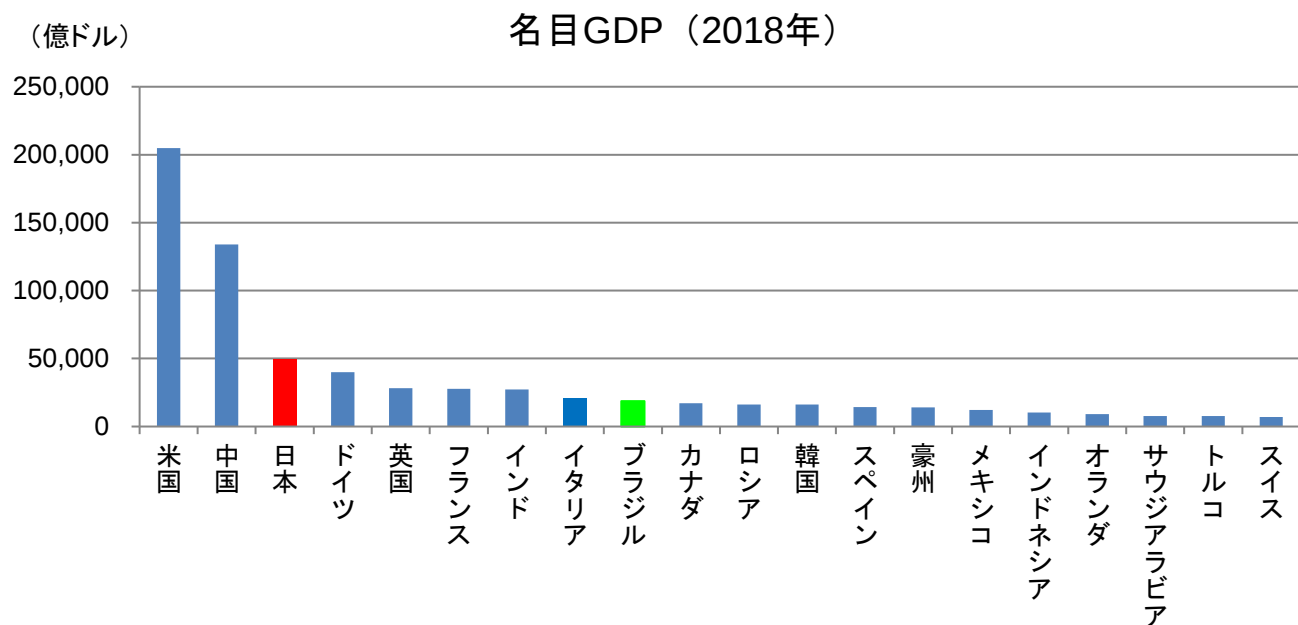
（ウ）月の後半は、前半に引き続き上昇傾向となり、FOMC のハト派姿勢表明や米国株の株高傾向の影響を受ける形で、一時は 102,000 ポイントを上回った。月末終値は、100,967 ポイントを記録した。

ブラジル経済・二国間経済関係概観

2019 年 6 月

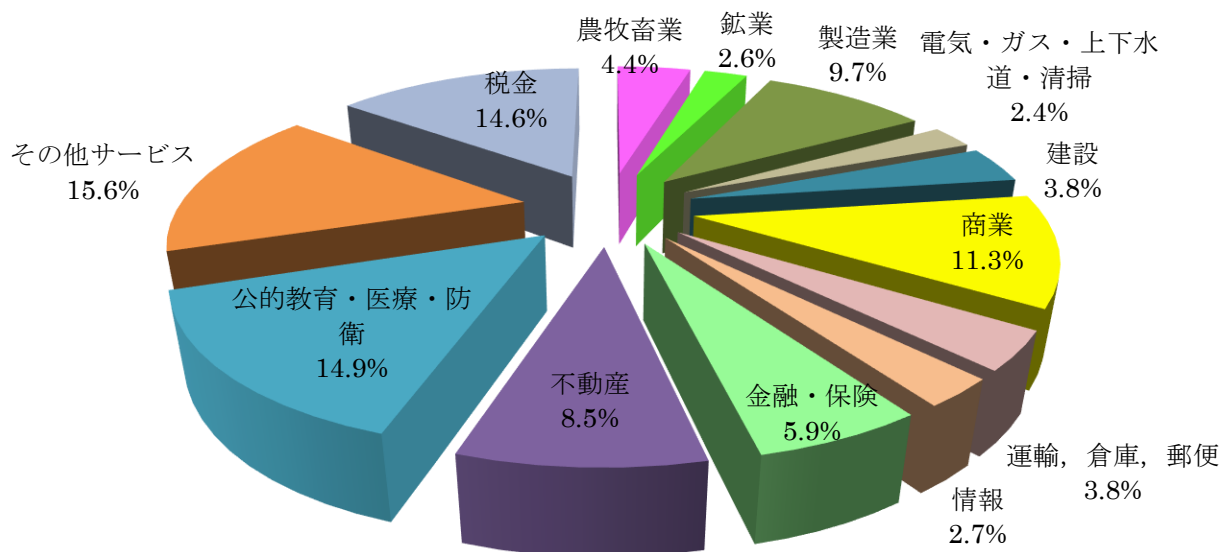
I . 経済構造

- ・ 世界第9位の経済規模(日本の約 38%)。一人当たり GDP では日本の約 25%。
- ・ 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産額では第三次産業が高いウェイトを占めている。



(出典)IMF

セクター別GDP (名目) 構成比 (2018年)

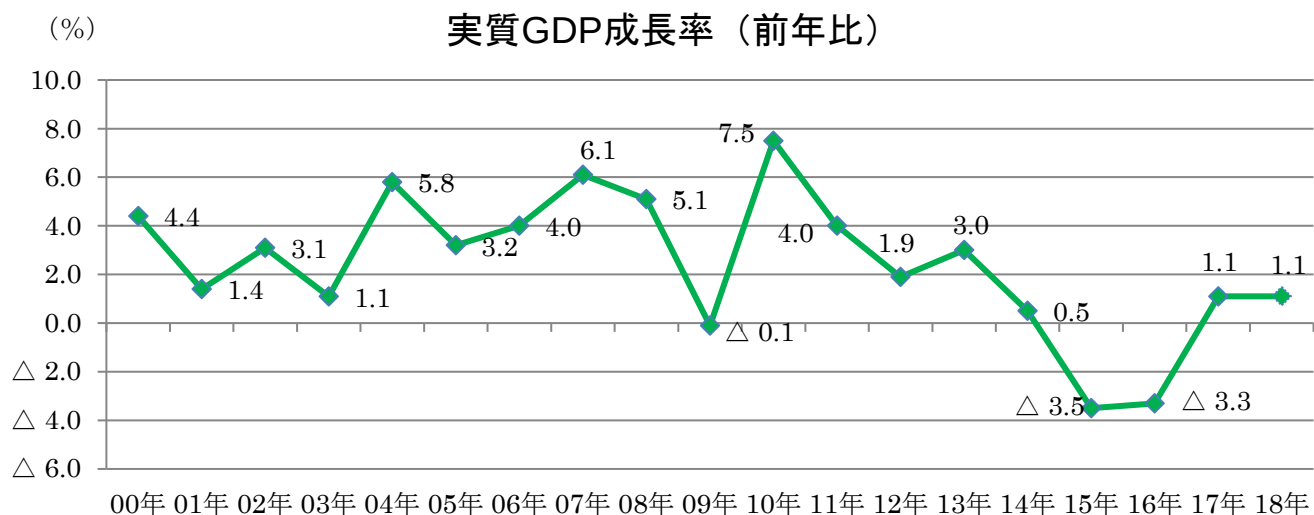


(出典)ブラジル地理統計院 (IBGE)

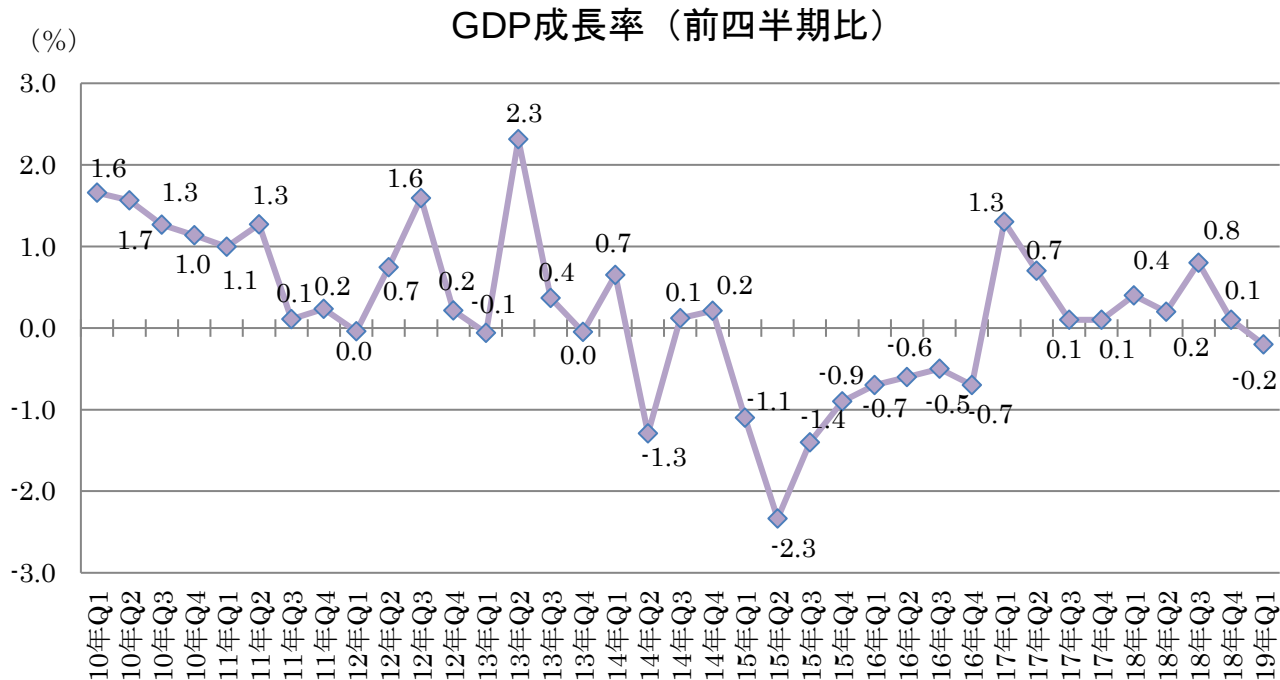
Ⅱ．経済の現状

1. GDP 成長率

2019 年第 1 四半期の GDP 成長率は、前期比-0.1%、前年比+0.5%増となった。



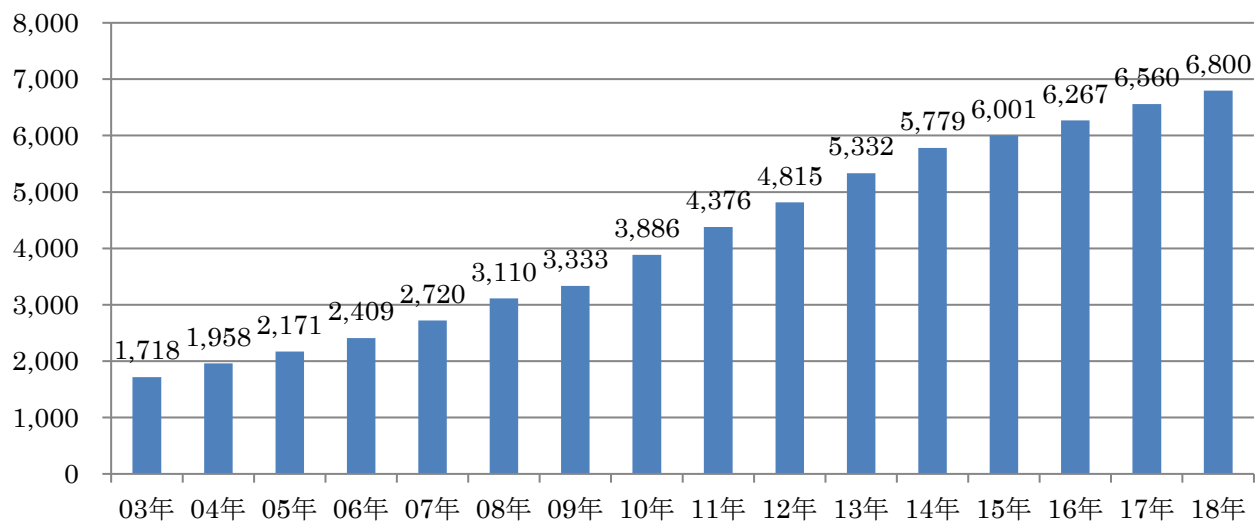
（出典）ブラジル地理統計院（IBGE）



（出典）ブラジル地理統計院（IBGE）

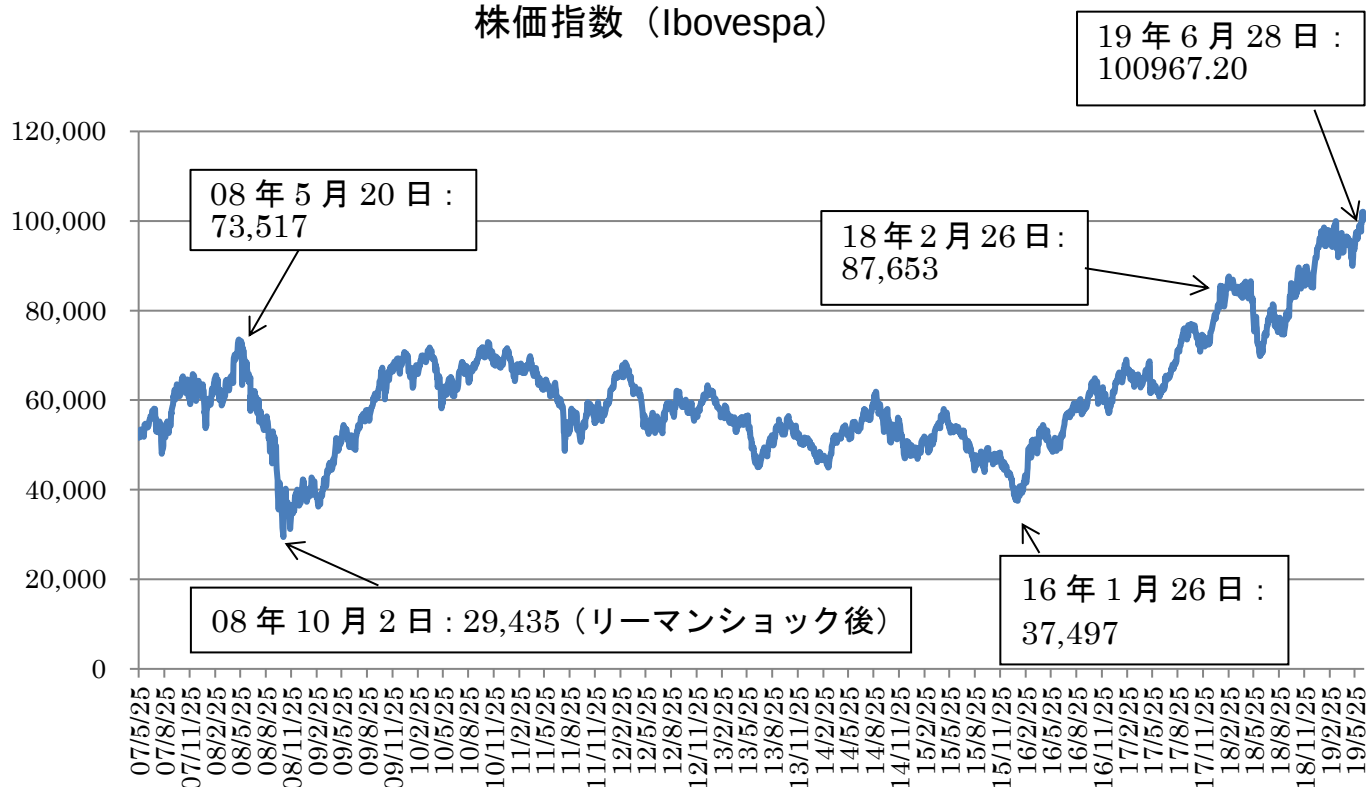
名目GDP額

(10億リアル)



(出典) ブラジル地理統計院 (IBGE)

株価指数 (Ibovespa)

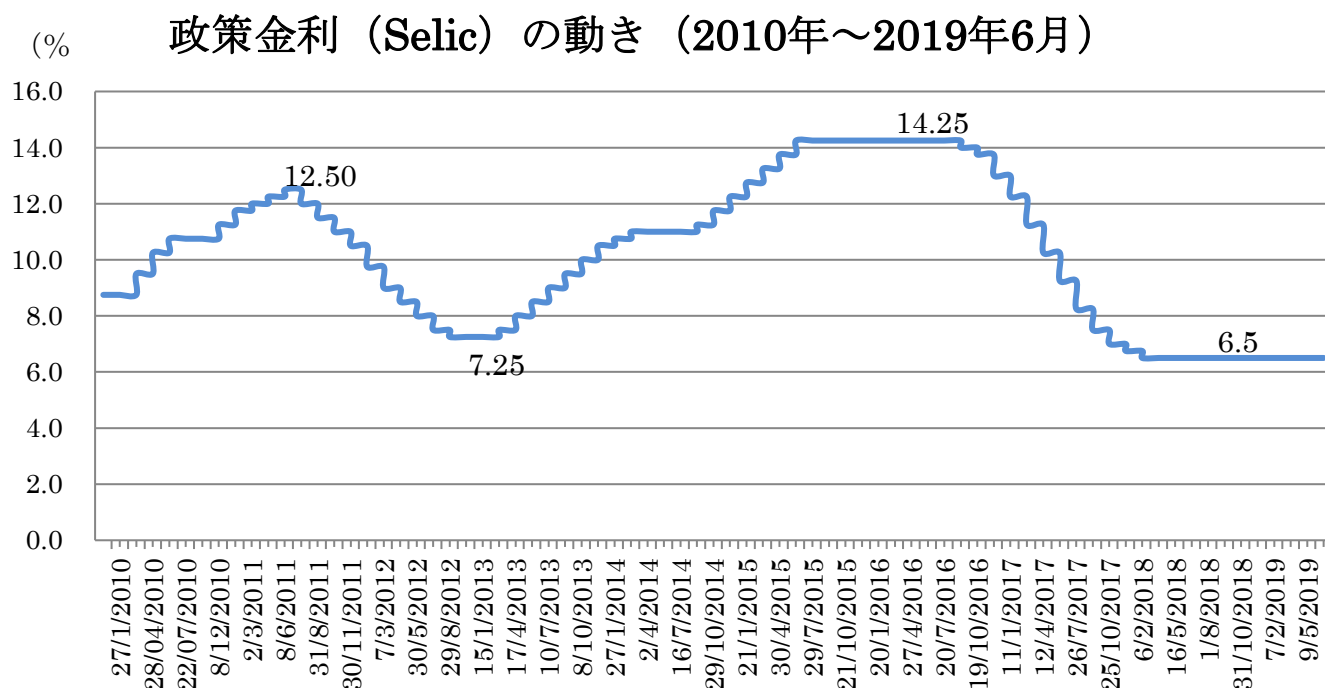


(出典) B3

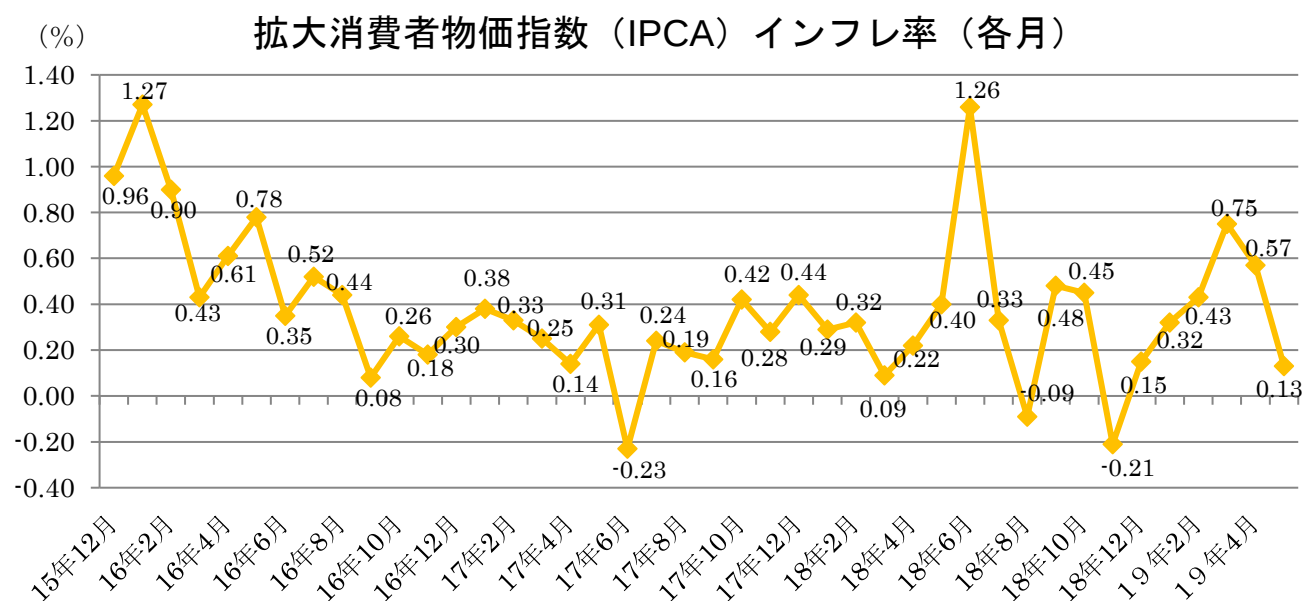
2. 金利、インフレ動向

6月19日、ブラジル中央銀行の金融政策委員会は、政策金利(Selic)を年率6.50%に据え置くことを全会一致で決定した。

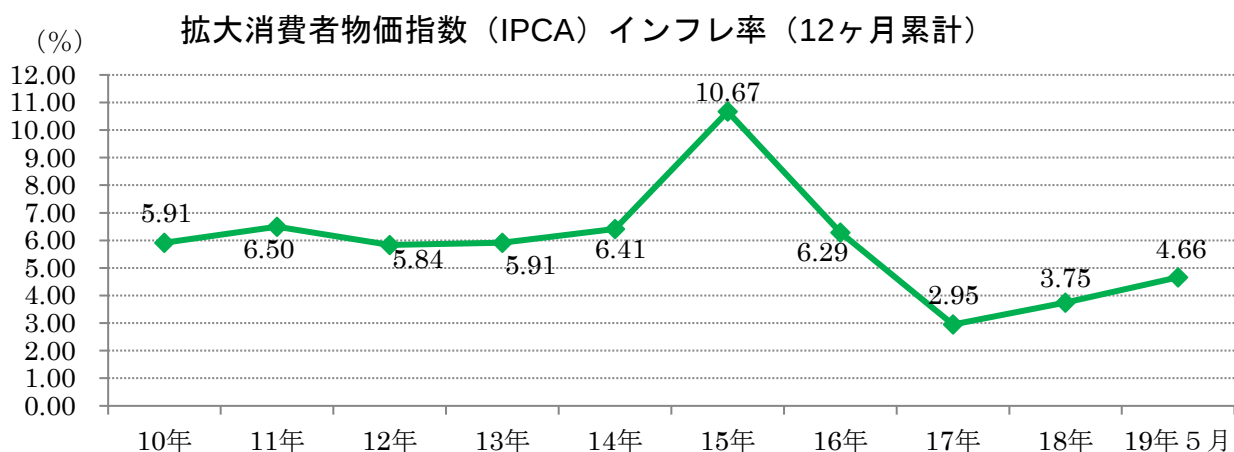
政策金利の据え置き決定は、10会合連続となった。



(出典) ブラジル中央銀行



(出典) ブラジル地理統計院



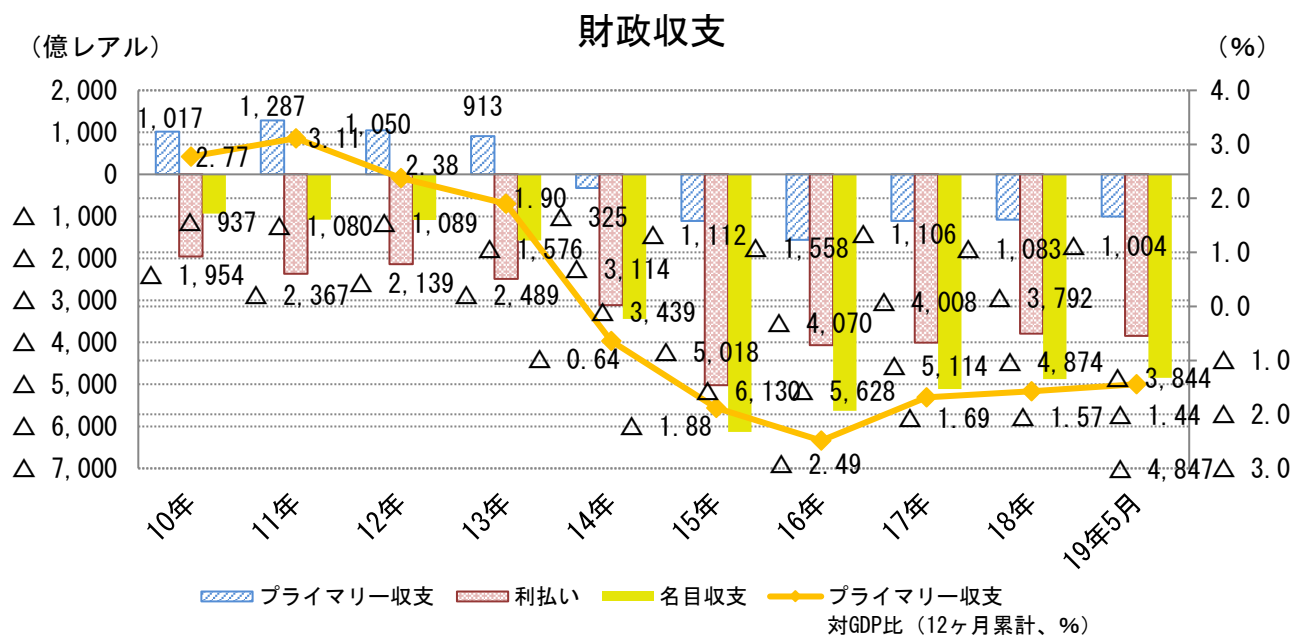
(出典) ブラジル地理統計院

3. 財政収支

2018 年 12 月 19 日、連邦議会は、2019 年度の連邦政府予算案を承認した。本予算案では、連邦政府のプライマリーバランスは▲1,390 億レアルの赤字を見込んでいる。

	プライマリーバランス (億レアル)	利払い (億レアル)	名目収支 (億レアル)	プライマリーバランス対 GDP 比
19 年 5 月	△1,004	△3,844	△4,847	△1.44%

※12 ヶ月累計



(出典) ブラジル中央銀行

年度別税収

(億リアル)

	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
税収	14,603	15,716	17,371	18,439	19,255	20,212	21,274
連邦政府	10,221	10,853	11,972	12,610	13,163	13,819	14,471
州政府	3,574	3,952	4,389	4,683	4,893	5,145	5,471
市政府	808	911	1,010	1,146	1,199	1,248	1,332
対GDP比	33.4%	32.7%	32.7%	32.4%	32.1%	32.3%	32.4%

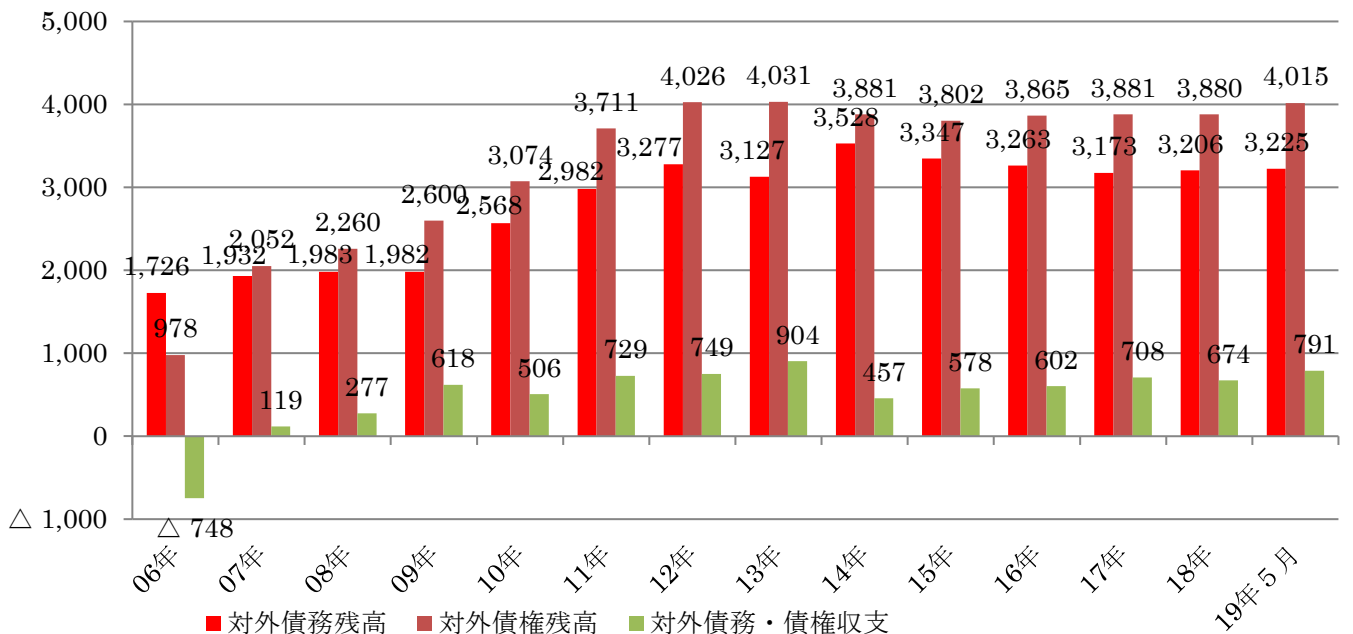
(出典) 連邦歳入庁

4. 対外債務

過去に大幅な対外債務に苦しんだブラジルであるが、2007 年以降は対外債権（外貨準備高、対外融資等）が対外債務を上回り、純債権国となっている。

対外債務・債権収支

(億ドル)



(出典) ブラジル中央銀行

5. 国際収支

2018 年の経常収支、貿易収支、対内直接投資は各々、△145 億ドル、536 億ドル、883 億ドルであった。

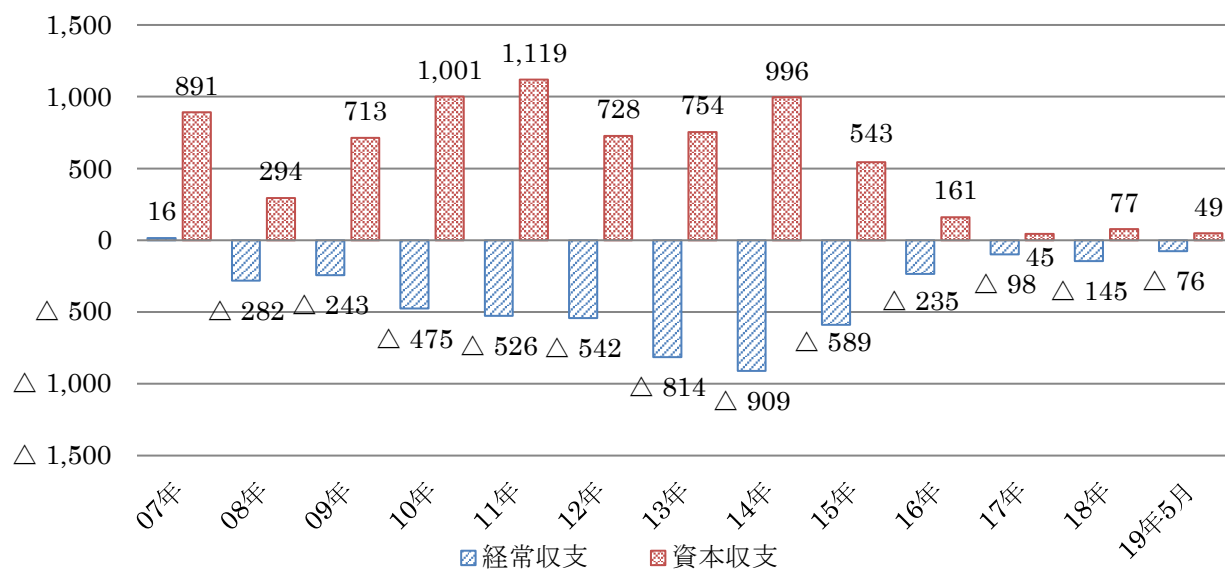
(億ドル)

	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年 5 月
経常収支	△526	△542	△814	△909	△589	△235	△98	△145	△76
貿易収支	298	194	26	△39	177	450	640	536	26
サービス・所得収支	△852	△765	△873	△889	△793	△715	△764	△706	△295
経常移転収支	28	28	34	19	27	29	26	25	14
資本収支	1119	728	754	996	543	161	45	89	49
投資収支	1103	746	742	990	547	164	49	93	50
直接投資	760	681	675	660	880	910	766	1024	442
対外直接投資	93	28	35	35	135	128	63	141	91
対内直接投資	667	653	640	625	745	782	703	883	351
証券投資	251	83	258	300	220	△192	△152	△117	△2
デリバティブ	0	0.3	1.1	△15.7	34.5	△9.7	7.1	27.5	7.6
その他投資	92	△18	△193	45	233	215	382	475	131
その他資本収支	16	△19	12	6	4	3	4	4	1
誤差・脱漏	△6	4	1	22	37	69	45	48	24

(出典) ブラジル中央銀行

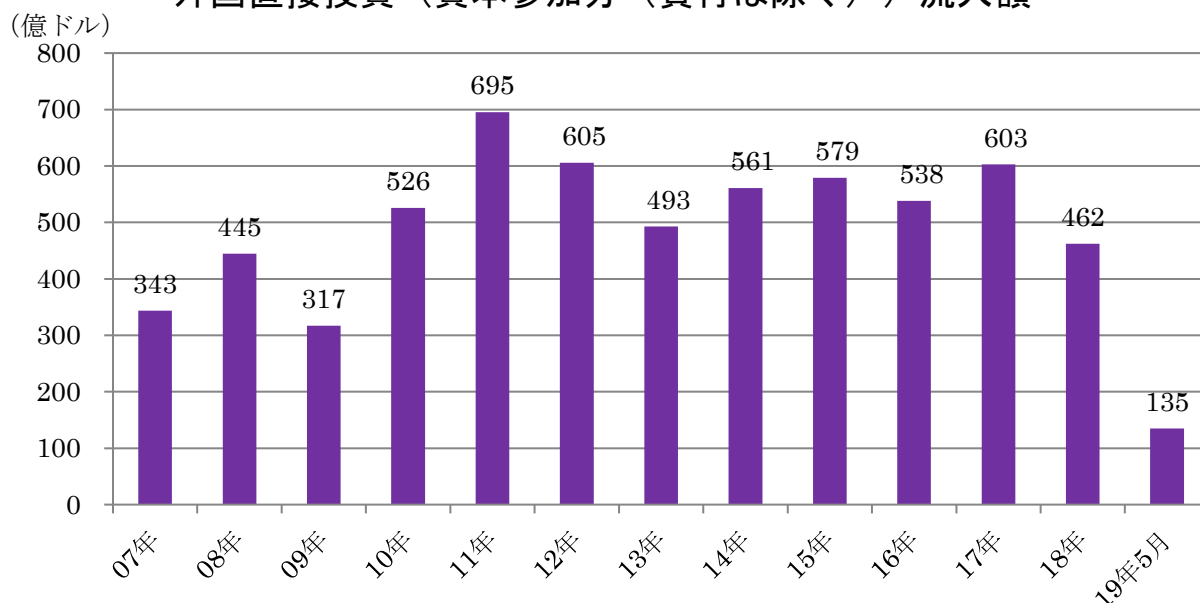
経常収支、資本収支

(億ドル)



(出典) ブラジル中央銀行

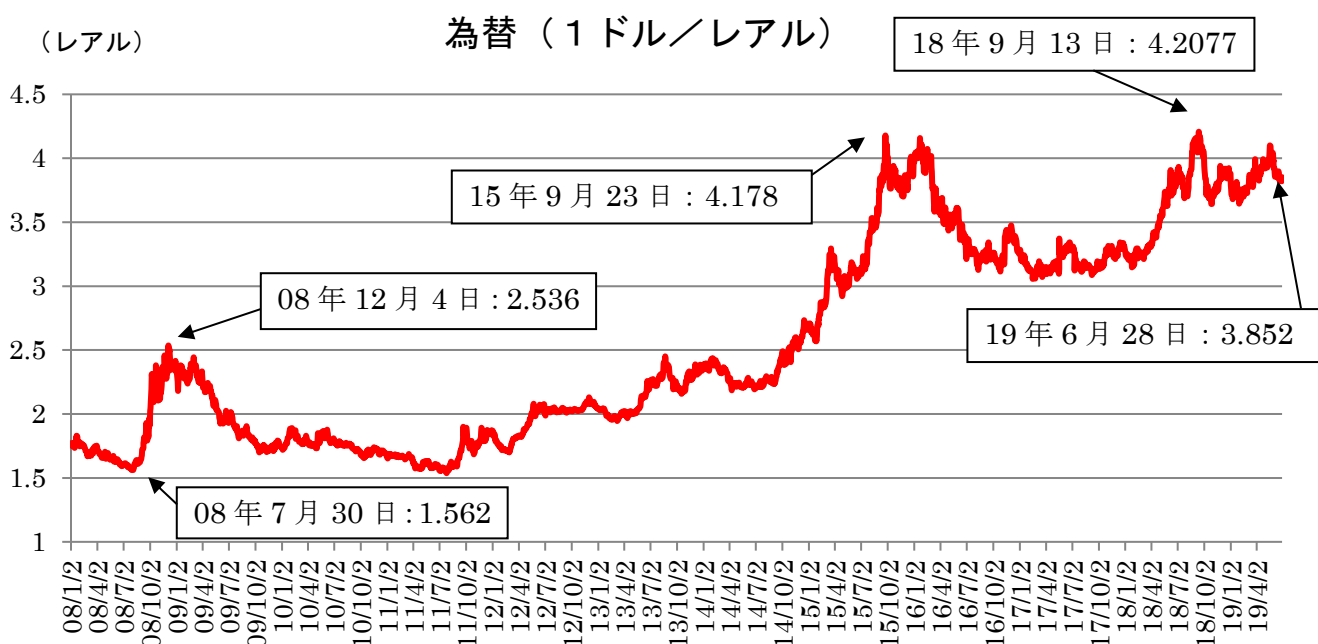
外国直接投資（資本参加分（貸付は除く））流入額

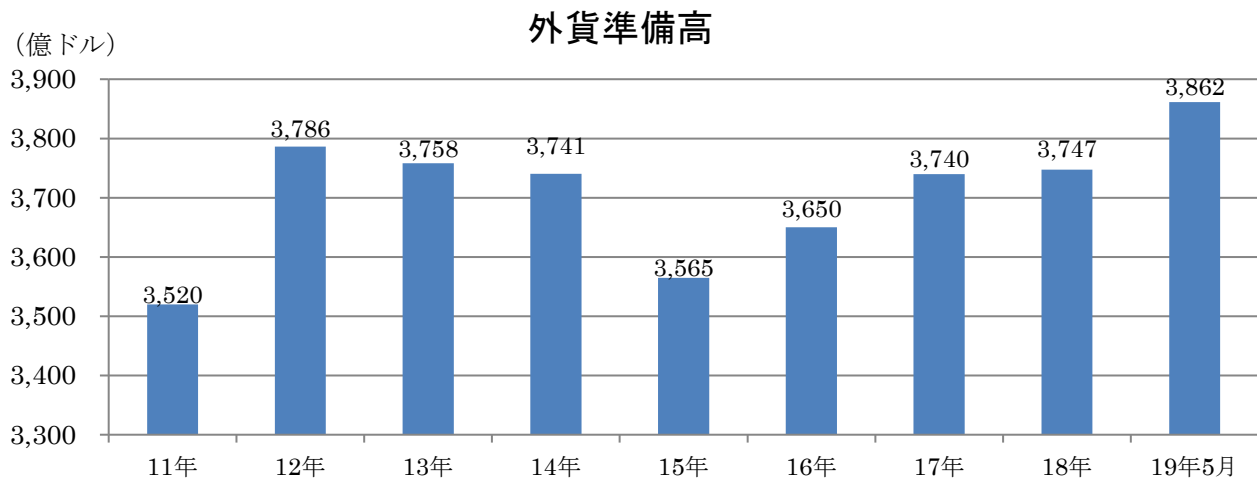


(出典) ブラジル中央銀行

6. 為替・外貨準備高

6月の為替レートは、1ドル＝3.8～3.9 レアル台で推移。月の前半は、年金制度改革の進展によりレアルが買われる一方、レアル・ペソ統一構想の報道や年金改革案に対する政府と議会の対立が報じられると反発し、月半ばには1ドル＝3.89 レアル半ばとなった。月の後半は、FOMC がハト派の立場を示してドル売り基調となったことや年金制度改革審議で楽観的な見方が広がり一時は1ドル＝3.81 レアル台となったが月末にやや反発し、終値は1ドル＝3.852 レアルとなった。

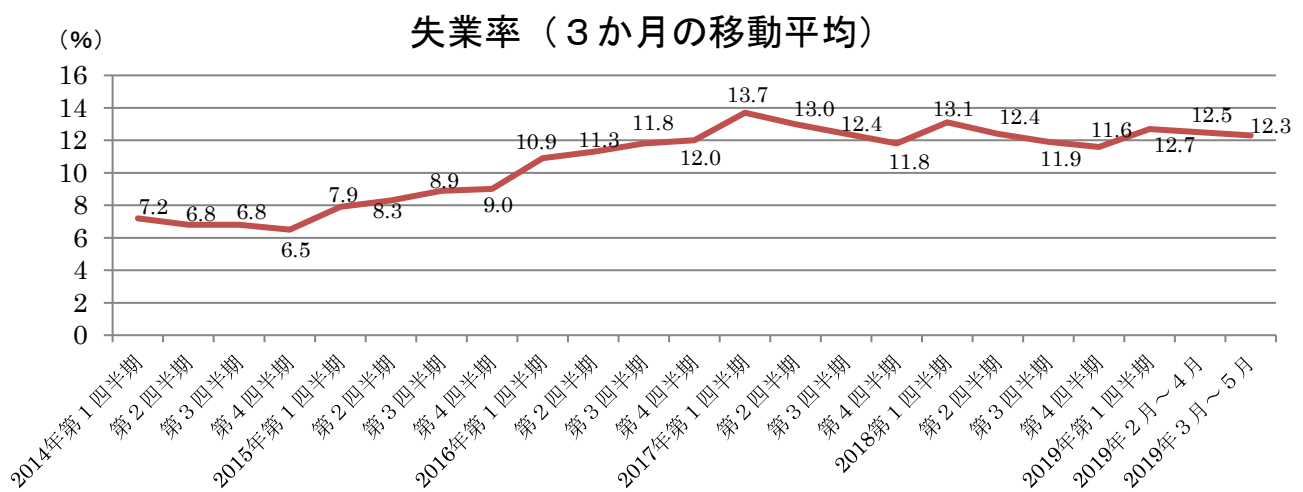




(出典) ブラジル中央銀行

7. 労働市場

2019年第2四半期の全国平均失業率は12.5%となった。
平均賃金は、2,289リアルとなった。

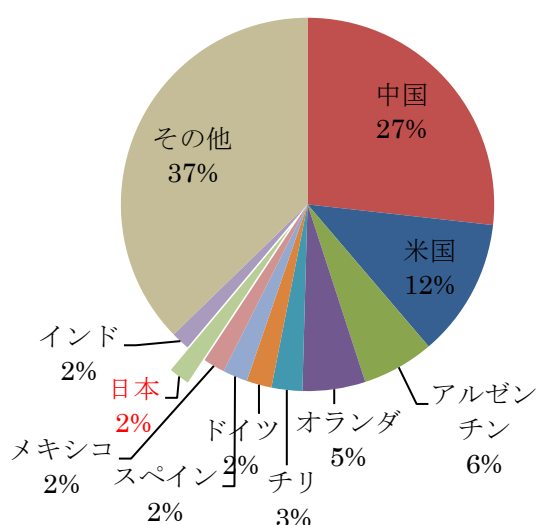


(出典) ブラジル地理統計院

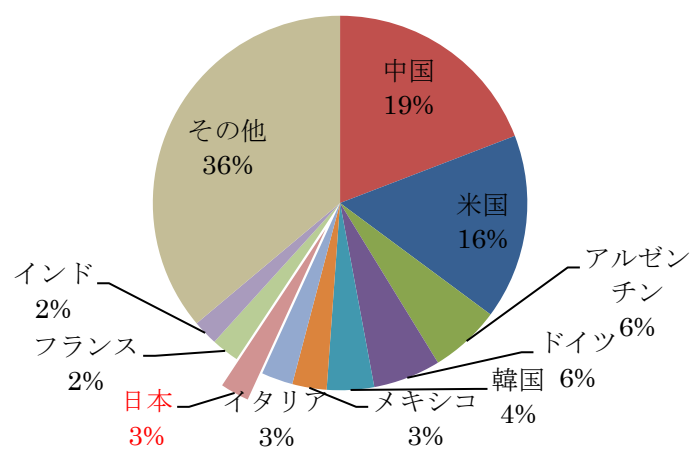
Ⅲ. 日伯貿易

- ・ ブラジルの貿易は輸出・輸入とも中国、米国、アルゼンチンが上位を占め、日本の占めるウエイトはこれらの国と比べると小さい。
- ・ 対日輸出は、鉄鉱石、鶏肉、トウモロコシ、コーヒー等の一次産品が中心。対日輸入は乗用車輸送用機器部品等の製品が中心。

ブラジルの輸出相手国（2018年）
（総額2,398.89億米ドル）

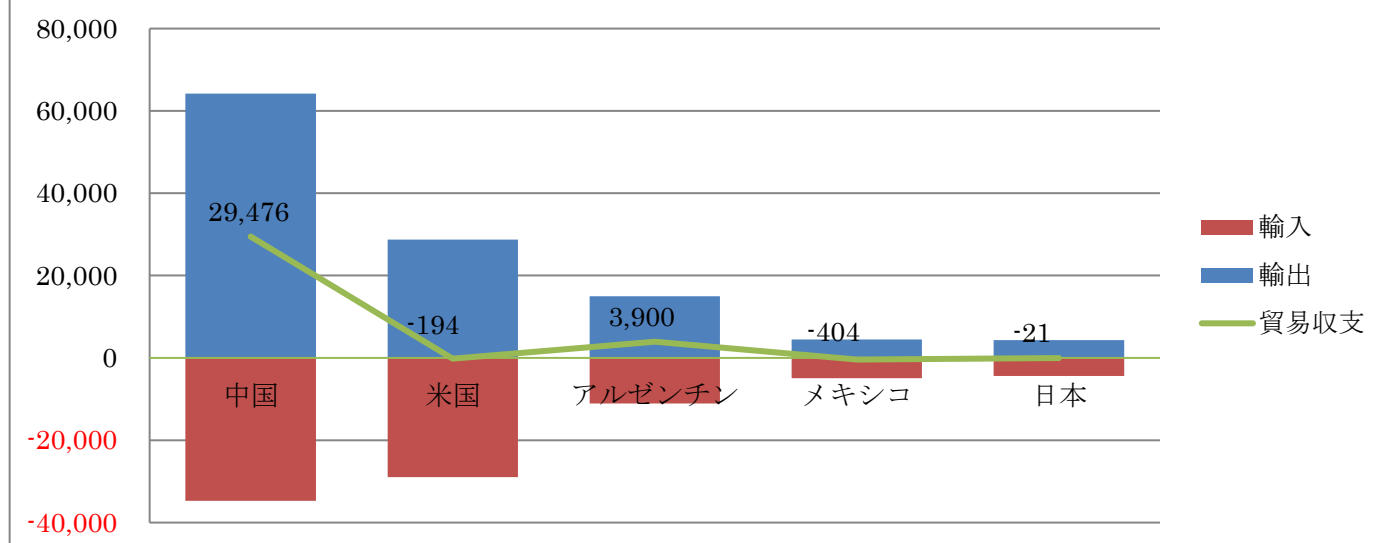


ブラジルの輸入相手国（2018年）
（1,912.31億米ドル）

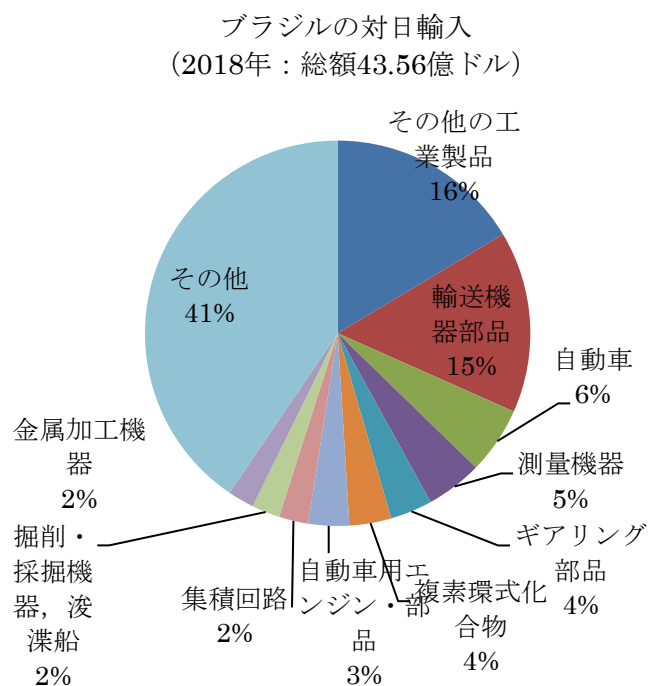
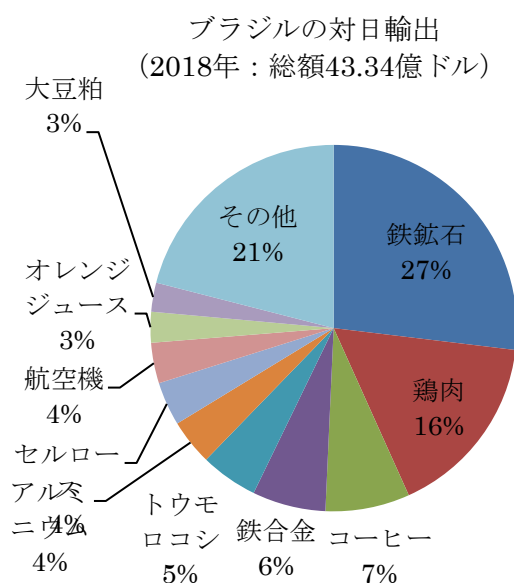


出典：ブラジル経済省

ブラジルの主要国別貿易収支（2018年）

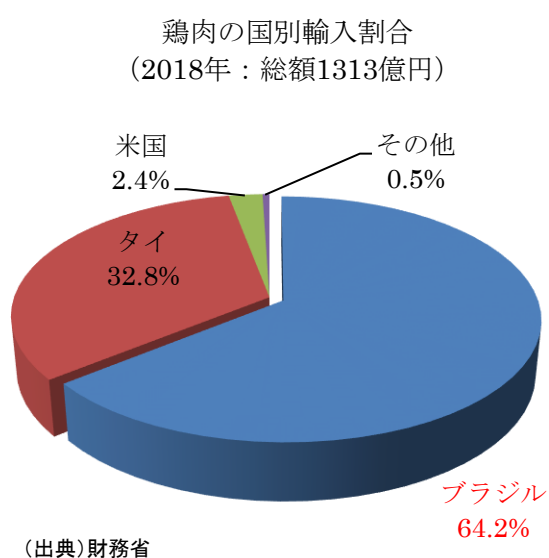
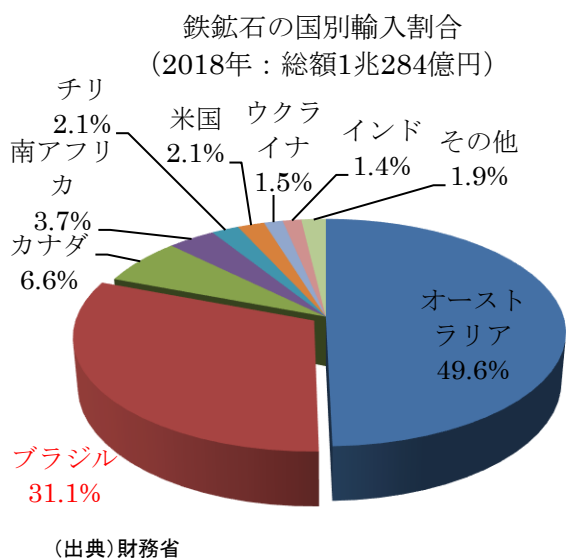


（出典）ブラジル経済省

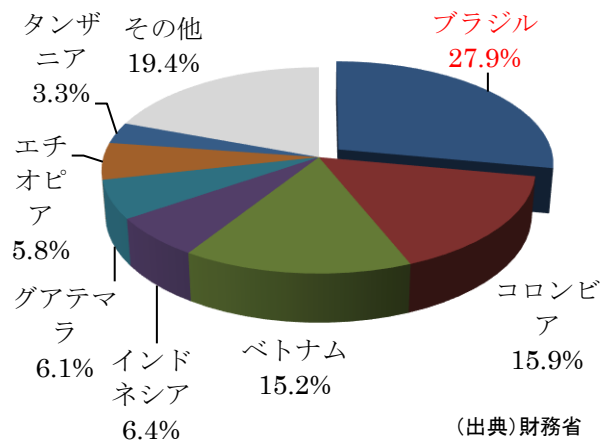


出典：ブラジル経済省

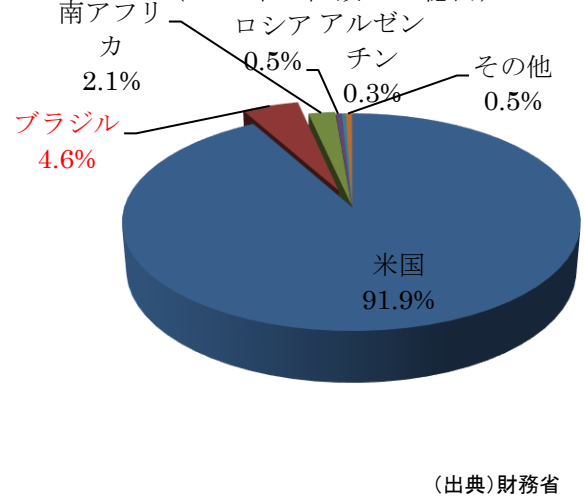
日本の全輸入額に占めるブラジルのシェア(対ブラジル主要輸入品)



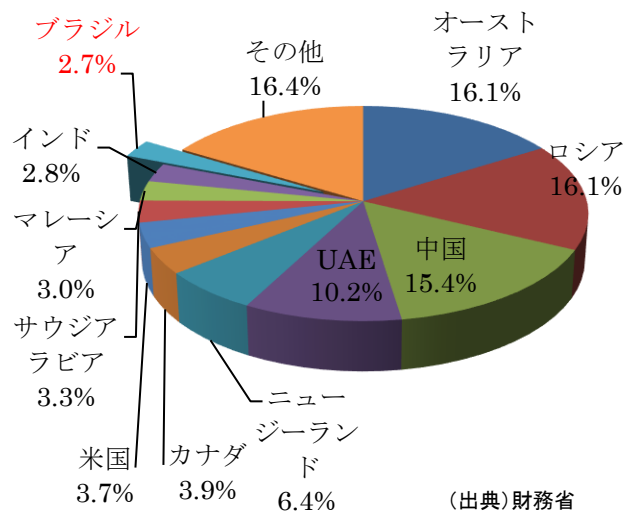
コーヒーの国別輸入割合
(2018年：総額1607億円)



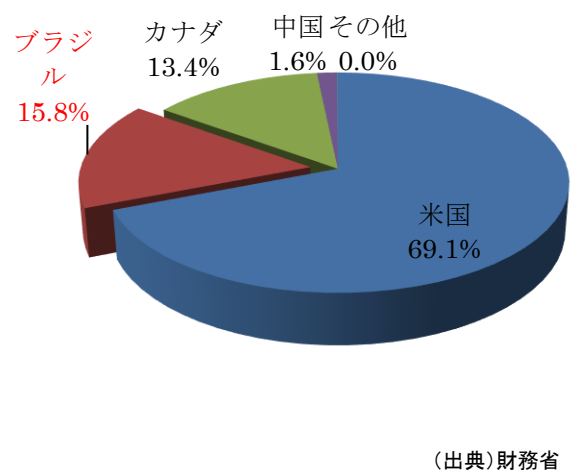
トウモロコシの国別輸入割合
(2018年：総額3725億円)



アルミニウム及び同合金の国別輸入割合
(2018年：総額8201億円)

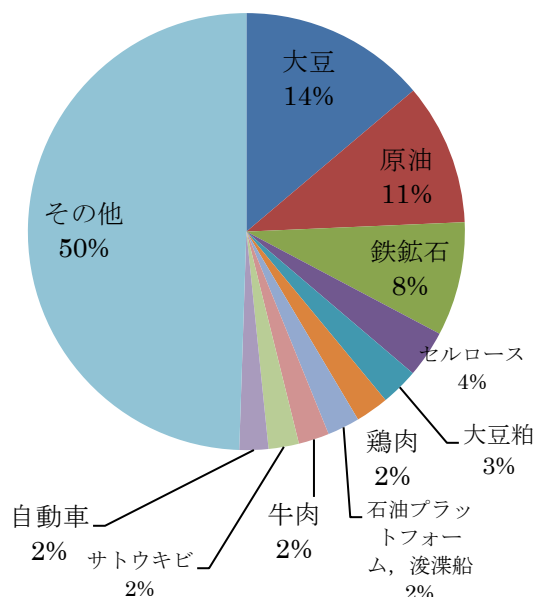


大豆の国別輸入割合
(2018年：総額1701億円)

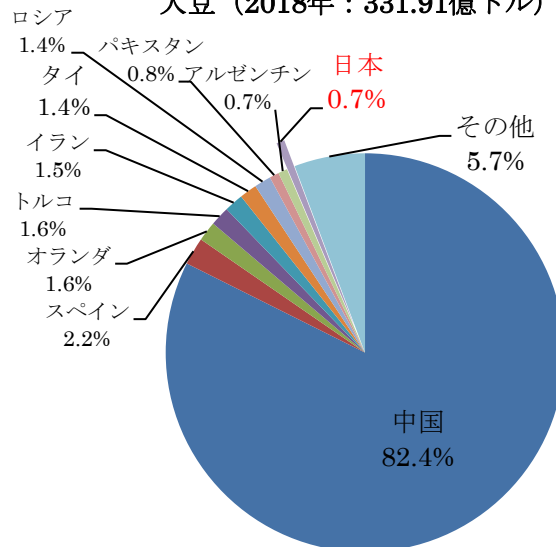


ブラジル主要輸出品割合・相手国別内訳 (出典：ブラジル経済省)

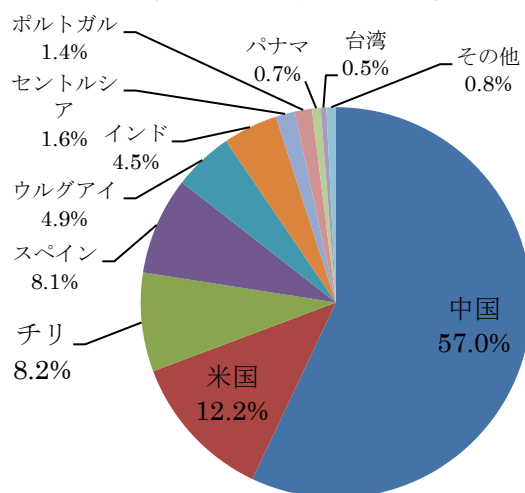
主要輸出品
(2018年：純輸出額2398.89億ドル)



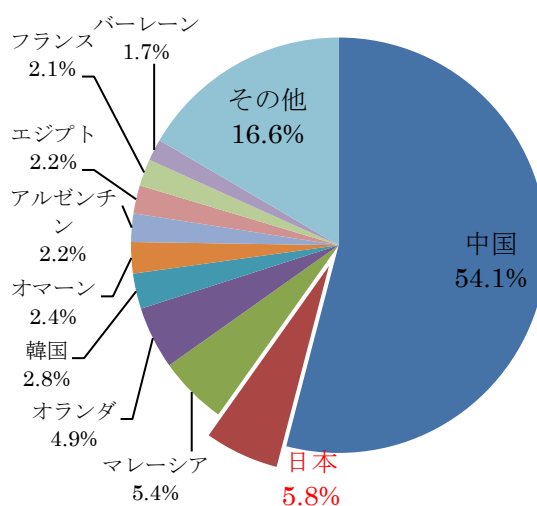
大豆 (2018年：331.91億ドル)

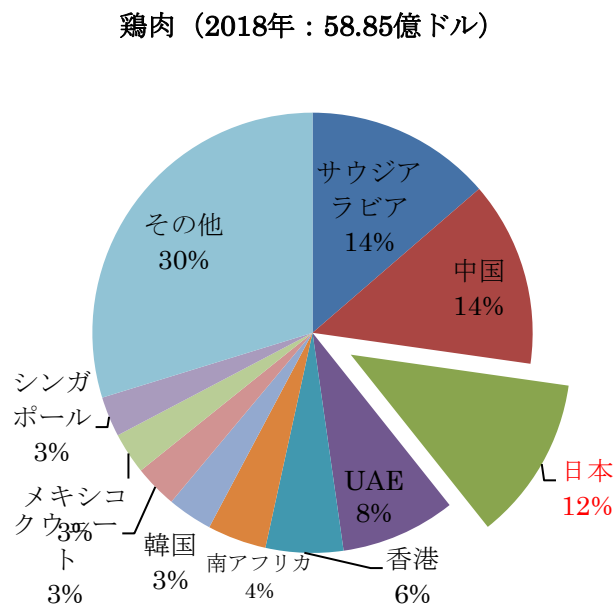
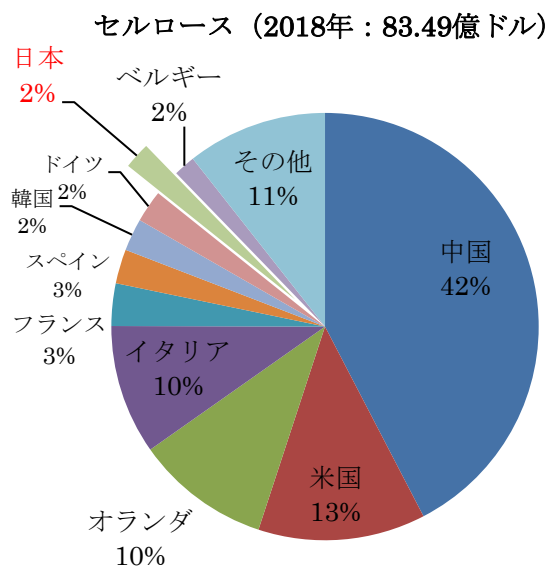


原油 (2018年：251.31億ドル)

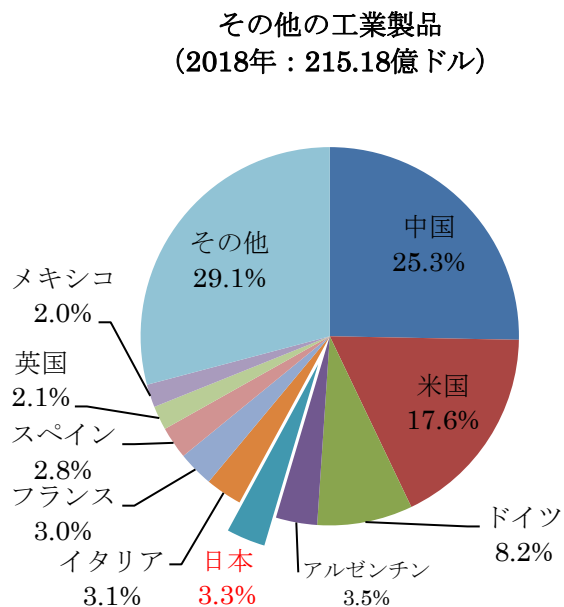
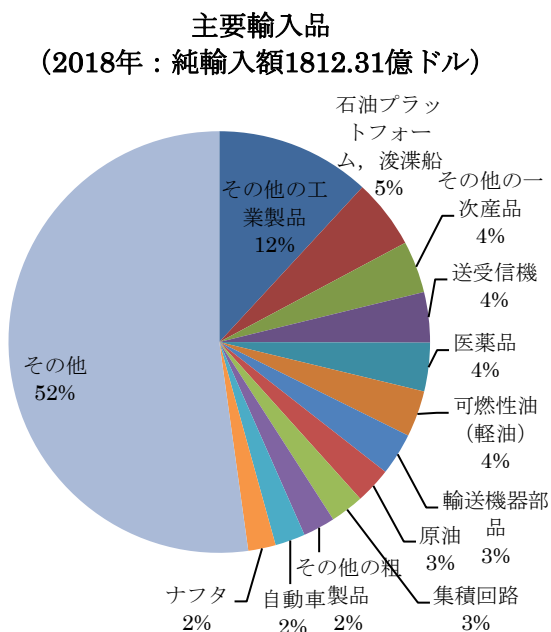


鉄鉱石 (2018年：202.16億ドル)

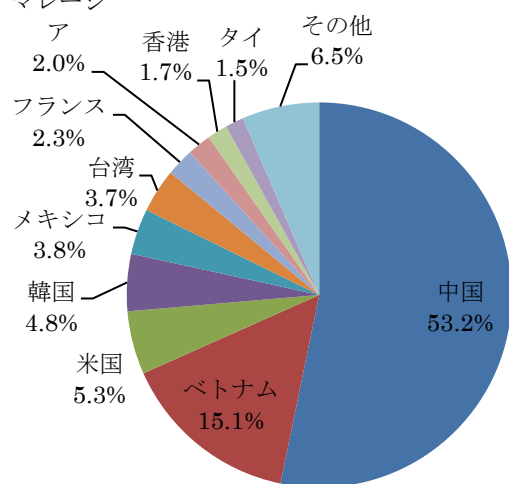




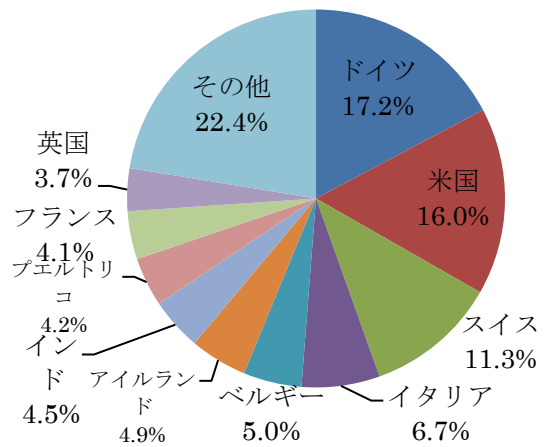
ブラジル主要輸入品の割合・相手国別内訳（出典：ブラジル経済省）



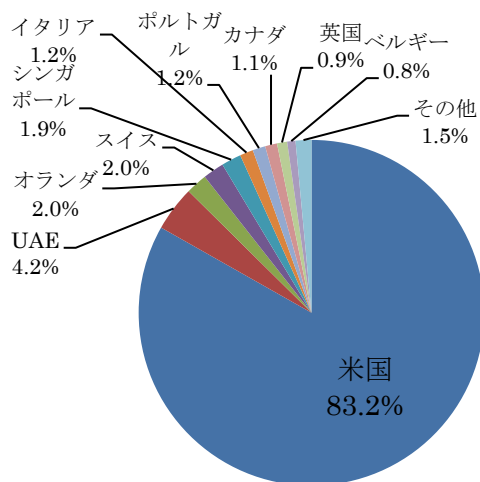
通信機器（2018年：69.98億ドル）



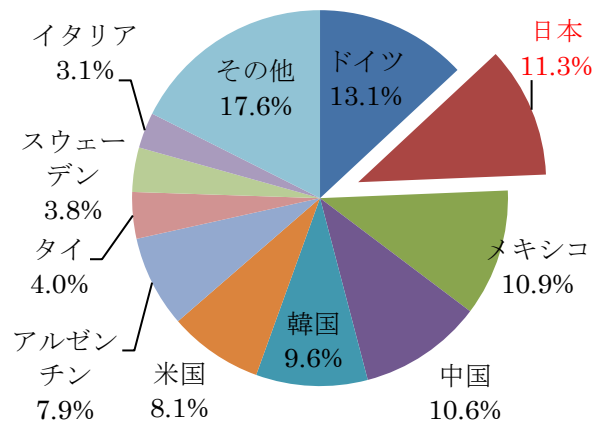
医薬品（2018年：67.50億ドル）



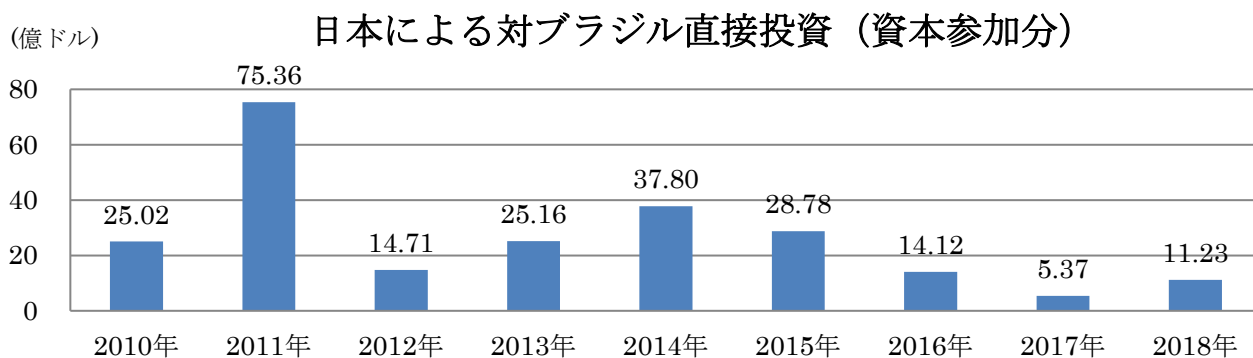
可燃油（2018年：64.24億ドル）



輸送機器部品（2018年：58.73億ドル）

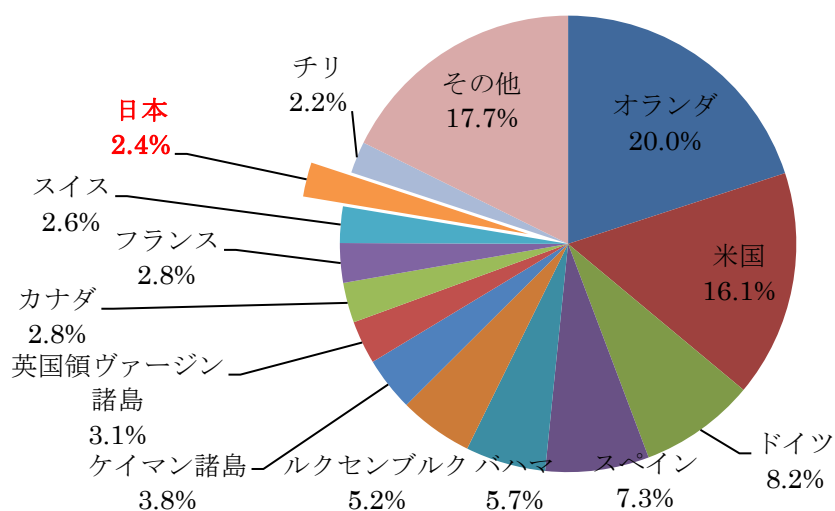


Ⅳ. 日伯投資

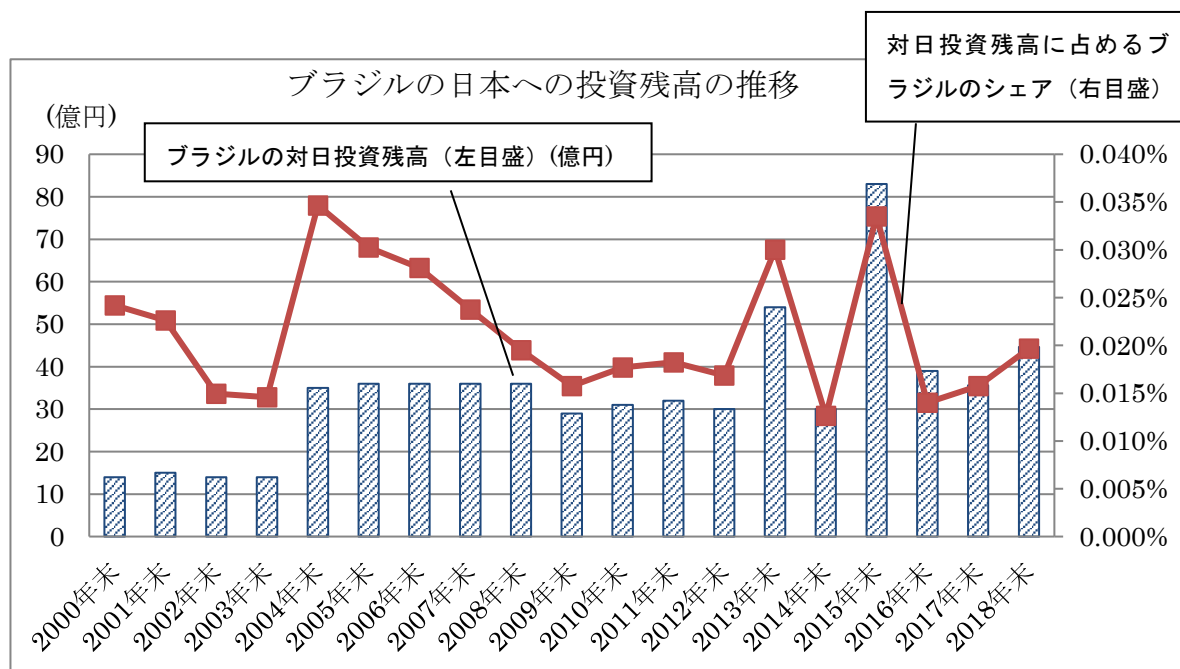


(出典) ブラジル中央銀行

対ブラジル直接投資（資本参加分，総額461,87億米ドル）



(出典) ブラジル中央銀行



(出典) 日本銀行